源平討魔伝

源平討魔伝

三種の神器

頼朝を倒すためには京都以降にある『三種の神器』を集めて持っていなければならない。

- 八咫鏡
- 草薙剣
- 八坂瓊曲玉

この3つのどれが欠けても頼朝を倒す事はできない。

剣：景清の剣の威力を表わす。
ゲーム中に　や　などを取ると威力が増す。

銭：取った銭の数を表わす。
　や　などを取ると銭が増える。
銭は後でいろいろな物に交換できます。

命：景清の寿命をローソクの本数で表わしています。
ローソクが無くなるとゲームオーバー。
　や　を取るとローソクが増えます。
但し、　は銭を持っていないと取れません。

平家復讐絵巻

一一九二年、闇は来たれり
闇の源を頼朝といふ。頼朝、あまたの魔族をひきいて地を征す。対せし平家の者ことごとく討たれ、壇の浦に沈みたり。
天帝、世の乱れを大いに憂い、三途の渡守安駄婆に命じて、平家の亡者より、ひとり衆の者を選ぶ。その名を平景清といふ
景清、ふれいやなる異次元の者の術により、地獄よりよみがえりたり。
安駄婆はいふ
諸悪の王、頼朝を倒すには、曲玉、剣、鏡の三種の神器が入要じゃ。
目指すは京都
そして鎌倉

長門の国

鳥居に着けばその国の面は終了となり、次の国へ進みます。
長門の国と、京都にはそれぞれ3つの鳥居があり、その後の道程を選ぶ事ができます。

黄泉の国

途中、穴に落ちると黄泉の国へ行ってしまいます。
そこで魔物と戦い、現世に這い上がるには大変苦労します。

黄泉の国：死後、魂が行くという所。冥土　　　　(広辞苑より)